

仕 様 書

1 概要

- (1) 業務場所 鳥取市若葉台北一丁目
(2) 施設名称 公立鳥取環境大学
(3) 業務名 令和7年度公立鳥取環境大学植栽管理業務
(4) 業務概要 中高木整姿剪定、植栽の植替え、伐根除草、管理台帳の更新
市道沿い高木間引き剪定、シラカシ根巻き、サルスベリ移植、散水栓設置
(5) 業務期間 契約締結日から令和8年3月23日まで

2 業務内容

受注者は、発注者と協議し、発注者が指定した植栽の整姿剪定に関する次の業務を行う。業務場所は別図を参照のこと。

(1) 中高木の整姿剪定【別表1】【別図1】【表1】

- ①中高木整姿工の施工について、以下による。
- ・基本剪定の施工については、樹形の骨格づくりを目的とした人力剪定作業をもって、樹種の特性に応じた最も適切な剪定方法により行わなければならない。
 - ・軽剪定の施工については、樹冠の整正、混み過ぎによる枯損枝の発生防止を目的とした人力剪定作業をもって、切り詰め、枝抜きを行わなければならない。
 - ・機械剪定の施工については、機械を用いたり刈り込み作業で、樹種の特性に応じた最も適切な剪定方法によって行わなければならない。
- ②剪定の施工については、主として剪定すべき枝は、以下による。
- ・枯枝
 - ・成長のとまった弱小な枝（弱小枝）
 - ・著しく病害虫におかされている枝（病害虫枝）
 - ・通風、採光、架線、人車の通行の障害となる枝（障害枝）
 - ・折損によって危険をきたすおそれのある枝（危険枝）
 - ・樹冠や樹形の形成上および樹木の生育上不必要的枝（冗枝、ヤゴ、胴ブキ、徒長枝、カラミ枝、フトコロ枝、立枝）
- ③剪定の方法については、以下による。
- ・特に修景上、規格形にする必要のある場合を除き、自然樹形仕立てとしなければならない。
 - ・樹木の上方や南側の樹勢が盛んな部分は強く、下方や北側の樹勢が弱い部分は弱く剪定しなければならない。
 - ・太枝の剪定は切断箇所の表皮がはがれないよう、切断予定箇所の数10cm上よりあらかじめ切除し、枝先の重量を軽くしたうえ、切り返しを行い切除しなければならない。また、太枝の切断面には必要に応じて、防腐処理を施すものとする。

- ・樹枝については、外芽のすぐ上で切除しなければならない。ただし、しだれ物については内芽で切るものとする。
- ・樹冠外に飛び出した枝切り取りや、樹勢回復するために行う切り返し剪定については、樹木全体の形姿を配慮し、適正な分岐点より長い方の枝を付け根より切り取らなければならない。
- ・枝が混み過ぎた部分の中すかしや樹冠の形姿構成のために行う枝抜き剪定については、不必要な枝（冗枝）をその枝のつけ根から切り取らなければならない。
- ・花木類の手入れについては、花芽の分化時期を考慮し、手入れの時期および着生位置に注意しなければならない。

④伐採

樹木の枯死等により、伐採の必要が生じた場合、発注者と打ち合わせを行い、伐採作業を実施すること。伐採方法については、原則として抜根とするが、抜根が困難な場合については、発注者の承認を得たうえで、安全管理上支障が無いようにすること。

⑤支柱取外し

必要に応じて、樹木の控木を撤去する。

(2) 植栽の植替え【別表2】【別図2】

以下の植栽の植付けをする。

- ①枯死したキリシマツツジの植替え
- ②チゴササの植替え
- ③タマリュウの植替え
- ④サクラの木に施肥

(3) 人力除草【別表3】【別図2】

別図2範囲の低木の株元及び市道歩道脇の雑草を伐根除草する。

(4) 植栽管理台帳更新【表1】

表1の管理台帳に記載の高木・中木を調査し管理台帳を更新し、MS-Excel 形式で納品すること。なお、樹木名称の誤りの可能性があるので、注意すること。また、測定方法は以下によることとし、剪定対象の樹木は剪定完了後に測定すること。なお、前回は令和7年3月に管理台帳を更新しているため、目測により管理台帳と相違があるものだけ、以下の方法により測定し更新することも可能とする。

種別	幹周	樹高	枝張
高木	根元から 1.2m の位置で計測	目測	目測
中木		計測	

(5) 市道沿い高木間引き剪定【別図2】

市道沿い高木間引き剪定 100 本程度

(6) 高木シラカシの強剪定、根巻き【別図2】

令和9年1月に移植予定とし、枝・根を強剪定し、根巻きをする。

(7) 中木サルスベリの移植【別図2】

グランドのり面の掘削予定とし、3m程移植する。バーク堆肥 20 kg、油粕 400 g。

(8) タマリュウの近くに散水用の散水栓を新設【別図2】

3 その他

- (1) 受注者は、業務に支障がないよう発注者と打合せ及び連絡調整を行い、本件業務の作業工程を管理する責任者を配置すること。また、業務開始前に業務計画書を提出し、施設管理担当者の承諾を受けること。
- (2) 使用する材料は事前に使用材料報告書を提出し施設管理担当者の承諾を受けること。
- (3) 業務で発生した枝木草土砂等の処分は発注者が指定する場所(大学内)に搬入すること。
なお、大学内の搬入場所は運動場を通行するので、業務完了時には運動場内の轍等を復旧すること。
- (4) 完成写真(着手前、施工中、完成後)を提出すること。

別表1 中高木の整姿剪定 別図1・表1参照

名称	剪定数量	備考
高木 (H:3m 以上)	250 本	別図1、植栽管理表【表1】参照、356 本の内 70%
中木 (H:3m 未満)	152 本	別図1、植栽管理表【表1】参照、全数

別表2 植栽植付け 別図2参照

業務名	業務内容	調達資材名	資材数量	備考
①枯死したキリシマツツジの植替え	枯死植栽撤去、植付け範囲の伐根除草、土壤改良・施肥、植付け	キリシマツツジ バーク堆肥 油粕	280 株	H=0.4m W=0.3m
②チゴササの植替え	枯死植栽撤去、植付け範囲の伐根除草、土壤改良・施肥、植付け	チゴササ 3 寸ポット	300 ポット	
③タマリュウの植替え	枯死植栽撤去、植付け範囲の伐根除草、土壤改良・施肥、植付け	タマリュウ 3 寸ポット	2,000 ポット	
④サクラの木に施肥	油粕の施肥	油粕	96 本 400 g /本	

別表3 伐根除草 別図2参照

除草面積
1,297 m ² (1,854 m ² の 70%)